

1 基本情報						
施設名又はグループ名			指定管理者名及び団体概要			
夢の島公園・夢の島熱帯植物館			(指定管理者名) アメニス夢の島グループ (団体の概要) 代表企業：株式会社日比谷アメニス（統括管理） ○株式会社グリーンバル(植栽管理他) ○株式会社日比谷花壇(マーケティング・イベント他) ○アズビル株式会社(設備保守・警備) ○日建総業株式会社(施設・清掃) ○株式会社エコルシステム(情報管理他) 計6社による連合体			
指定期間						
R5. 4. 1～R10. 3. 31(5年間)						
2 施設名						
夢の島公園・夢の島熱帯植物館						
3 管理運営の概要						
公園では「わくわくおさんぽアートフェス」を継続開催、地域回遊・環境啓発イベントを数多く実施した。また、公園を地域のリサイクル中継地とする「中古園芸資材回収の取組」を実施し、高いリサイクル率を達成するなど、地域施設や企業と連携した地域価値向上に繋がる事業を実施した。アーチェリー場と連携したスポーツイベントも実施。植物館では小笠原関連イベントを引き続き実施、東京都レンジャーに協力をいただき、スタッフ研修も充実させることで小笠原支庁との連携強化、自然を伝える施設としての魅力度向上に繋げている。また、日々のSNS運用や人気イラストレーターとのコラボイベントを通して、昨年度より若年層の来館が増えるなどの効果があり、年間入館者数は目標の10万人を超えた（昨年比113.3％）。						
4 管理状況（維持管理）						
公園：集中豪雨の際に園路の一部が冠水するため、都度共同溝内・園路脇にて仮設排水ポンプを設置し対応していたが、排水工事を実施し利用者の安全を確保した。また、排水管高圧洗浄や便所特別清掃を計画的に実施し、老朽化等における施設の長寿命化に寄与している。台風・強風・降雪予報時には事前に側溝清掃・柵清掃・風散養生等の対応を行い、場合によっては夜間の警戒待機・早朝巡回を行うことで利用者の安全を確保した。パールアカシアなどを引き続き維持管理し、3月の開花期には多くの問合せや利用者が撮影に訪れた。						
植物館：夏季は災害級の猛暑であり、植物館入口にミスト扇風機を2台設置したほか、各所へ扇風機も配置した。9月に新江東清掃工場からの熱供給が停止したことを受け、映像ホール・企画展示室にスポットクーラー3台、扇風機2台を設置し、お客様が快適に過ごせるよう努めた。高温水の利用効率向上による省エネに寄与する整備としてプレート式熱交換器整備を行うなど、老朽化が進んだ施設設備補修は耐用年数・経年劣化・利用者の満足度と現状を照らし合わせ各種実施した。大温室や屋内展示スペースの熱帯植物に対し、定期的な施肥やメンテナンスを行い、花木・観葉・果樹を常に良い状態で観賞していただいた他、企画展示との連携も継続して実施している。						
5 利用者アンケート結果						
実施方法： QRコードを用いたスマートフォンでの回答						※ 植物館の評価は4段階評価であり、1.25を掛け5段階評価の数値に補正
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応	
夢の島公園	4.5	4.6	4.5	4.5	4.0	
夢の島熱帯植物館	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	
6 入園者数の状況（単位：人）						
施設名	当該年度	分析				
夢の島公園	404,157	秋に実施した地域回遊イベントにより多くの来園があったが、競技場の団体利用などがコロナ禍以前には戻っていない。しかしながらアーチェリー場と連携したスポーツイベントの実施などイベント情報をSNSなどに挙げた事により団体利用の問合せ等増えつつある。				
夢の島熱帯植物館	111,207 (開館309日)	通年季節に応じたイベントを実施し、利用者の要望を踏まえた管理運営や閑散期対策の実施により、ほとんどの月で昨年を上回る入館者数となった。継続してきたSNS運用やターゲット層を定めた企画・イベントなどが効果を生み、年間目標来館者数10万人超えを達成した。				
合 計	515,364					

施設名 夢の島公園

地域連携

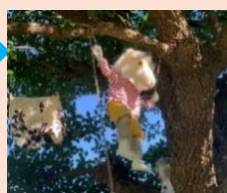
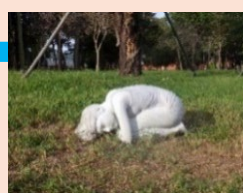
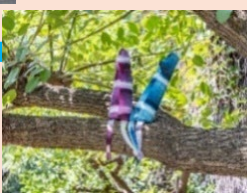
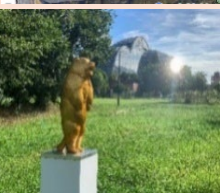
地域活性

■「新木場&夢の島わくわくおさんぽアートフェス」継続開催

昨年に続き第二回目の開催。夢の島公園内17カ所・新木場エリア7カ所にアート作品を展示。植物館が事務局を担当し、特に昨年の課題である広報強化や地域連携強化を重視し準備・開催さ

課題①広報強化：DXを意識した案内及びSNS告知を展開。新たに Instagram広告を実施した。プレスリリース送付先を拡大し、掲載媒体を増やした。

【DX】夢の島公園HPやマップ内のQRコードを読み取るとGoogleのマイマップからアート作品場所が確認できるよう整備した。



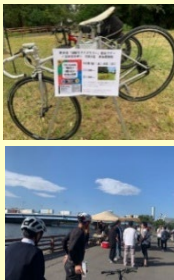
【掲載媒体の増加】Instagram広告、江東ケーブルテレビマイルー等賞コーナー放送、東京都建設局「東京のまちづくり」、朝日新聞・読売新聞取材、TOKYO ART BEAT 掲



課題②地域連携強化：地域周遊イベントのDX謎解きクイズラリーを自主制作。他、共同イベントで地域施設企業の連携を高めた。

【謎解きを自主制作】

LINEbot機能を用いてDXを活用した謎解きのイベントを開催。謎のヒントは夢の島熱帯植物館のスタッフや、新木場の地元企業7社や郵便局で働く職員の方々が出しており、ストーリーの登場人物には地域のゆるキャラ（植物館・新江東清掃工場・木材合板博物館などのマスコットキャラクター）を総動員した。



【自転車試乗・周遊】

散走ネットワークと協働しスタンプラリーや自転車試乗会を同時開催。公園の認知と快適環境の共有、また地域の景観を楽しんでいただくきっかけ作りとなった。タンデム自転車の試乗は視覚障害を持つ方の需要に応えるイベントとなった。

【公園内でワークショップイベント開催】

昨年に加え、夢の島公園の土を使った絵具でのお絵描き体験など、アーティスト主体のワークショップを新たに8つ企画。フェス期間中に2回実施した。公園にさらなる賑わいを創出した。



§ 植物交換会・中古園芸資材の回収提供

- ★近隣ヒアリングで挙がった地域の悩み「高齢化」「園芸離れ」「園芸遺品」
- ★園芸を始めやすく終えやすい地域の仕組みづくりを夢の島公園を中心に展開する。
- ★春・秋開催で継続をアピール。高齢の方の園芸終い断捨離などの資材持込が増えている。
- ★無料提供を通じ、園芸初心者の若い世代の参加も増えた。
- ★ボランティア、企業、団体、中学生職業体験、大学生のインターンなど幅広く協力。

5月4日～5日			
◆植物交換会	参加者	280名(持込数 181点 持帰数 132点)	
◆中古園芸資材の回収提供	参加者	668名(持込数 209点 持帰数 253点)	
6月10日 ◆1Dayボランティア	参加者	8名(植替え 158鉢)	

10月7日～8日			
◆植物交換会	参加者	175名(持込数 257点 持帰数 152点)	
◆中古園芸資材の回収提供	参加者	625名(持込数 429点 持帰数 166点)	
6月10日 日付◆1Dayボランティア	参加者	6名(植替え 130鉢)	

辰巳団地や区報でPR
園芸不用品回収



春の開催
(ゴールデンウィーク関連イベント)



秋の開催
(アートフェス関連イベント)



春・秋ボランティア
14名 288鉢植替え



§ 他施設連携 ～プラスチック鉢の回収提供～

- ★夢の島公園のリサイクルのノウハウを他公園に提供する協働イベントを臨時開催。
- ★持帰りも容易な軽量の「プラスチック製植木鉢」に特化しリサイクルをPR。
- ★5つの企業、2つの自治体、4つの都立公園の協力の元、広域に展開。
- ★(株)グリーバルの自主事業で、東京都環境公社の「サーキュラーエコノミーの実現に向けた社会実装化事業」の補助金を受けた。

- 11月 ◆江戸川環境財団とリサイクル協力。中古美品50鉢を貰い受ける。
- 12月 ◆猿江恩賜、亀戸中央、大島小松川の各公園で回収。177鉢夢の島公園へ。
- 1月 ◆中学生とスタッフで洗浄、計量、装飾作成。
- 2月 ◆夢の島熱帯植物館リサイクルイベント プラスチック鉢を無料償提供。
(入館者数979名 提供数149鉢 持帰数120鉢 リサイクル率81%)



アメニスグループが
管理する他公園と協力



中学生の職業体験の
協力で鉢を洗浄



夢の島熱帯植物館で
リサイクルイベント



インターンと共に運営
アンケートも好評

安全・安心への取り組み

- 利用者の安心安全を第一で適切な維持管理作業や点検を実施。
- 突発的な案件にも迅速な対応で利用者の安全を確保。

§ 維持管理作業



台風・強風事前対応等



蜂の巣注意・撤去対応



園路冠水の排水対応ポンプ設置



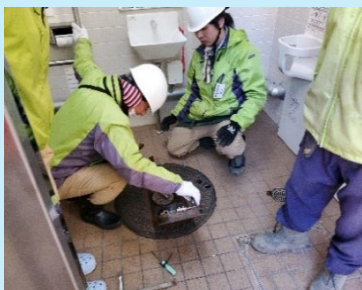
排水工事実施

§ 防災訓練&利用者指導

- アーチェリー場と連携した防災訓練を実施。
- 迅速な利用者指導や不審者対応で公園の安全を保つ。



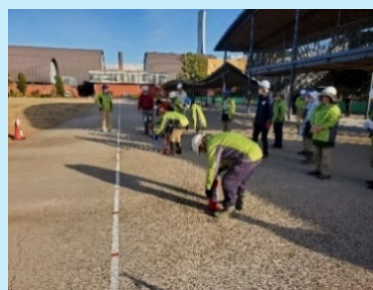
防災訓練



防災トイレ設置訓練



防災トイレ設置訓練



アーチェリー場にて消火訓練

地域・企業・学校連携

- 1 dayボランティア鉢の植替え開催。(関連トピック：§ 植物交換会)
- ボランティア花壇の植替え■アーチェリー場と連携してスポーツイベントを開催

§ ボランティア活動の充実

・6月、11月の2回開催。

・毎月ボランティア定例会実施。



1 dayボランティア



ボランティア花壇の植替え

§ アーチェリー場と連携したイベント



かけっこ教室



ツリークライミング体験

§ 都民協働

- 中学生の職場体験を受入れ、公園植栽担当の業務補佐や中古園芸品回収提供イベントの準備作業などを体験していただいた。学芸員実習、インターンシップ生についても受入れを実施、綿密なスケジュールを設定し、夢の島の歴史を踏まえた公園・植物館についての講義も実施した。



中学生の職場体験



学芸員実習



インターンシップ受入

施設名 夢の島熱帯植物館

様式1-②

来館者大幅増加

★R5年度（目標年間来館者数：10万人）
年間来館者数：111,207人
前年比：113.3%

指定管理者名 アメニス夢の島グループ

■各種SNSをターゲット層を定めて運用し、コロナ禍・オリンピックで激減した来館者数を回復させるべく対策を継続して行ってきた結果、R5年度は来館者数が殆どの月で前年を上回った。閑散期対策として3月のアーティストコラボ企画「ゆめねつ×みなはむポップアップ展」などによって、これまでの主たる利用者層ではなかった10代20代の集客にも成功した。今年度来館者数が少なかった猛暑の時期についてコミュニティサイクルポートの設置を検討するなど、来年度に向けた閑散期対策についても協議・検討している。

SNS運用が効果を上げる

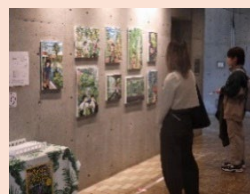
★各種SNSをターゲット層に応じて運用を継続。定期的な配信を行い、インフルエンサーに取り上げられるなど、認知度向上へ大きく寄与している。

★夜間開館ではSNSバナー広告を初めて採用し、30日間でInstagramで約14万回、Twitterで約170万回広告が表示された。期間中の来館者数は前年を大きく上回った。

Instagram
ストーリーズ

アーティストコラボ

公園でのアートフェスと連動し本多沙映、FICCIONESによる作品を植物館に展示。また人気画家「みなはむ」氏には植物館9カ所の絵の制作を依頼。展示の他、7種類のオリジナルグッズ等を販売。Xでの告知投稿のインプレッションは41万にのぼり、フォローワーは300人以上増加した。ハッシュタグ（#ゆめねつみなはむ）を使用した投稿では、この展示をきっかけに植物館に来られて良かったという感想が多数寄せられた。

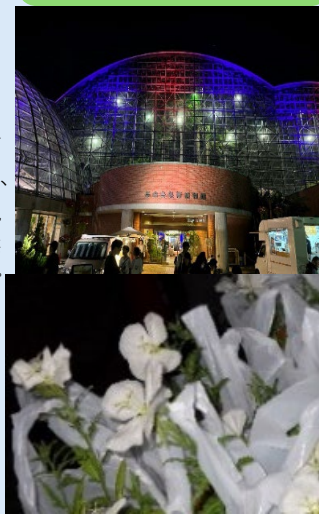
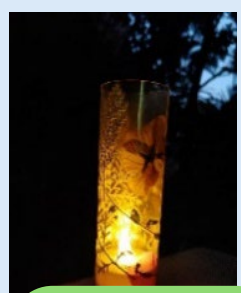


夜間開館開催（7/16・7/17）

★2日間の開催で来館者数は計2654人であり、前年を大きく上回った。各所へ行行列ができるなど大変な人気であり、ボランティアガイドによる植物の解説も好評であった。地域連携・企業連携としてキッチンカーやワークショップ

地元の食堂キッチンカー等
設置

夜間開館中の植物館外観

月見草配布・
ボランティアガイドの実施シャトルバス
運行夜間限定スタンプラ
リー実施押し花ミニライト
ワークショップ実施

企画展示「小笠原諸島展」（1/23～

★東京都小笠原支庁、小笠原村観光局と連携し長期の企画展示を今年度も実施。独特な文化や生態系を、絶景の島々や美しい自然の写真で紹介した。バックヤードにて保有する小笠原固有の植物もイベントホールで展示。

★イベントへの来館誘導にオリジナルCMを作成。都設置のサイネージで放映し広く告知を行った。

★映像ホールにて小笠原現地の同時中継も含む講演会と植物館のドームツアーを実施、好評を博し

小笠原を学ぶスタッフ研修

東京都レンジャーによるスタッフ研修を全8回実施。リモートで現地と当館を繋ぎ、小笠原の植物の現地での生態や、当館との比較なども講義いただいた。第8回目では植物館で直接講義いただき、非常に活発な質疑応答が行われた。



「小笠原DAY」ブース出展

小笠原村観光局主催「小笠原DAY」へブースを出展。小笠原諸島固有種植物をモチーフにしたオリジナルグッズなどを販売した他、統括責任者による講演会も実施した。



小笠原諸島展・関連イベント



都レンジャーによる講演会



都レンジャーによるドームツアー



小笠原諸島展・企画展示

サイネージでの宣伝（渋谷駅前）
写真内のサイネージ部分を目立つように囲む

その他のイベント



前庭におばけカボチャを設置した
ハロウィン・パーティー



フラワーアレンジメント教室

§ 植物館内イベント

■季節に応じて多数イベントを実施。
パナマフェアでは、パナマ大使館、日本パナマ友好協会との連携による企画展・イベントを開催した。（写真も入りたい）(株)明治協賛によるカカオ講座を実施。



月2回の
ウィークエンドコンサート



熱帯豆まき

§ アウトリーチ活動

■植物館から移動してイベント等を多数実施。上野恩賜公園開園150周年総合文化祭にもブース出展。



ぬいぐるみのおとまり会



ファーマーズマーケット出展



正月の新木場駅前装飾



江東湾岸まつり出展

都民協働

■出張授業を5年ぶりに再会。江東区立毛利小学校・枝川小学校・東雲児童館の3校にて実施した。



熱帯植物・植物館等の説明

§ 「ラン大賞」出張授業



江東区立毛利小学校



江東区立枝川小学校



江東区東雲児童館

§ 周辺施設との相互理解交流

■夢の島エリアの施設との相互見学会を実施。

BumBスポーツ文化館見学会：3名参加
→植物館見学会：5名参加

新江東清掃工場見学会：計25名参加
→植物館見学会：計10名参加



BumBスポーツ文化館 相互に見学会実施



新江東清掃工場 相互に見学会実施



維持管理

■利用者の安全と利便性を第一に考えた施設維持・修理を実施。
■開館以来大きく生長したBドームのダイオウヤシを伐採。メッセージボードを設置して利用者の声をいただいた。

§ 都工事対応



改修工事竣工検査立会



カフェ改修工事完了

§ 修繕



共同溝内ポンプ更新等



As舗装陥没箇所補修

§ 館内維持



熱供給停止時の室温最適化制御



ドームカメラ・アダプター交換



熱交換器ガスケット交換

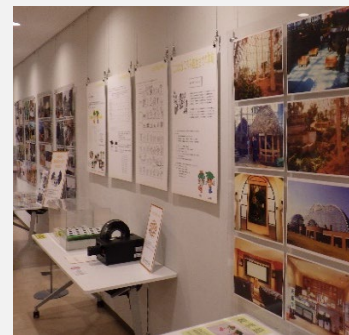
その他



ARアプリの新規導入



アーティストコラボ



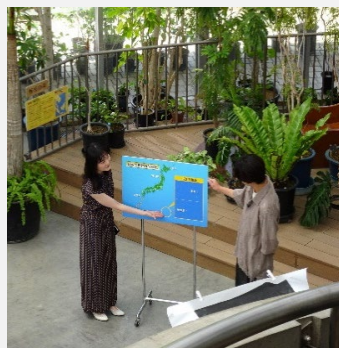
開館35周年企画展



ホランティアガイドツアー
他



フォトウェディング



NHK 小笠原諸島との二元中継



学芸員・職場体験・インターン



ツリークライミング

収支状況

3 収支(単位:千円)				
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	公園別支出額
項目	金額	金額	金額	
収入 計	292,993	294,940	308,741	夢の島公園 : 105,919,850
内訳	指定管理料	280,763	308,741	夢の島熱帯植物館 : 187,073,150
	利用料金	0	0	
	その他収入	14,177	0	その他収入 :
支出 計	292,993	294,940	308,741	(キャッシュレス精算)
収支差	0	0	0	